

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 15 日 (19:00~21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口 (速)、喜納、出海、高木、武者
三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	13 人	2 人	0 人	16 人

前回の改善計画
* 初期支援にあたっては、スタッフが初期の関わりを意識し、事前に与えられた情報をそれぞれが確実に収集することで、サービスを開始していく。また、サービスを提供していく中で得られた課題や情報等は申し送りノートを活用し、確実にスタッフ間で共有し、適切なサービスへ繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
* 初期支援に関しては、前年度に比べ意識しながら取り組めたが、まだまだ足りないと感じる部分も多かった。初期支援時には専用の申し送りノートを利用し利用開始時にスタッフが得られた情報はこのノートを使って共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2 人	14 人	0 人	0 人	16 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2 人	10 人	4 人	0 人	16 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3 人	8 人	4 人	1 人	16 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	7 人	6 人	0 人	16 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
* 利用前に与えられた情報をスタッフそれぞれが収集し、ケアにあたることができた。また利用を開始してからも、得られる情報などは関わったスタッフが初期支援ノートを利用し、他スタッフへ情報を発信、共有することができている。
* 初回の面談時にケアマネージャーと一緒にスタッフの代表者が同行することで、現場への情報共有がスムーズになった。
* 初めて利用される日や、利用してから慣れるまでは、より一層関わりを増やし、不安を軽減できるよう努めた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
* 勤務の都合上、あるいはスタッフ間でのコミュニケーション不足により、利用開始前の情報収集にはスタッフ間に差があり適切な支援につながっていないことがある。
* スタッフによっては、勤務する曜日や時間に制限のある非常勤職員もいるため、訪問にいけなかったり、ご家族とお会いする機会が少なかったりするため直接お話しをお伺いしたりすることがない場合がある。
* 新人スタッフはどのように介入していいのか、スキルの面や自信がなかったりすることが要因で積極的な関わりがもてない場面がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
* 初めて利用される方は、色々な不安を抱えながらの利用になると思います。スタッフは事前に得た情報を元に、コミュニケーションを積極的にとり、少しでも不安を軽減できるように支援していくようにする。
* 常勤、非常勤問わず、その方の暮らしを知る為、運転できないスタッフや新人のスタッフは普段関わらないサービスにも時間や人員に余裕がある時は同行してもらい、サービス全体を把握できるようにすることで初期の段階から積極的に介入することができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 30 日 (19 : 00～21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口 (速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	6 人	0 人	16 人

前回の改善計画
*ご利用者の目標を理解した上で、日頃の関わりの中からその方の「～したい」をたくさん集め、少しでも多く実現していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
*前年度に比べて、多くの～したいを拾い、実現できていると思います。ただ全ての～したいではないのでより一層の実現を目指したい。
*ケアプランでのその方のゴールを理解するのが難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0 人	8 人	7 人	1 人	16 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0 人	10 人	6 人	0 人	16 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0 人	9 人	6 人	1 人	16 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1 人	6 人	9 人	0 人	16 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
*日々のコミュニケーションの中から、それぞれの～したいを聞き取り、日常の中の小さなことから、大きな外出支援なども実現することができた。
*日頃聞き取った想いや願いをフロア会議を利用して、他のスタッフへ発信、共有する事ができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
*意思疎通ができない方への聞き取りやアプローチができていなく、情報の共有もなされていない。
*日頃のコミュニケーションの中で情報は拾うことはできても、業務が忙しく中々実践にうつすことができないことも多かった。
*リスクを先に考えてしまい実現までには至っていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
*意思表示ができない方への関わりの中で、その方の生活歴や家族からの聴取、日頃の表情や仕草から～したいなどの想いを汲み取り関わっていく。
*～したいを実現する際はご利用者と計画性をもって実現できるようにし、自己実現の目的を明確にして行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 15 日 (19 : 00～21 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口 (速)、喜納、出海、高木、武者
三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	6人	1人	16人

前回の改善計画
*日常生活支援を1日単位で全スタッフが支援できることと、正確な情報共有とケアの継続性を高めるため1日2回以上の申し送り(夜勤から日勤へ、日勤帯から夜勤へ)を分担と大まかな時間を決めず必ず実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果
*申し送りは比較的出来てはいるが、その日の業務や人員によってできていなく、情報が伝わっていない日もあった。 *本人の状況にあわせ日常生活支援はできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	3人	10人	3人	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	11人	3人	0人	16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	8人	5人	2人	16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	11人	2人	0人	16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4人	10人	2人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
*申し送りの時間は取れており、本人にあわせてその日その時の支援を行うことができている。 *コミュニケーションの中で、思いや感じていること、体調の変化などは申し送りやフロア会議、申し送りノートを通して他のスタッフへ伝え、共有している。 *スタッフ間で申し送り情報共有をするため本人の体調の変化や突発的な支援には柔軟に対応できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
*スタッフのスキル不足もあり、申し送りができている時とできていない時がある。また、情報量や伝える内容に個人差があるため、正確な情報が申し送りされなかったり、途中で途絶えてしまうことがある。 *業務量が多く、そちらを優先してしまうことがありご利用者の変化に気づかない、あるいは見過ごすことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*引き続き、申し送りは確実にこなっていく。その際情報が途切れないように、業務日報や申し送りノートを利用しながら引継ぎを行っていき、文字にのこしながら申し送ることで、翌日や翌々日の勤務者にも伝わるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 15 日 (19:00~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口(速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	13人	0人	15人

前回の改善計画
*もう一度ご利用者のアセスメントを行い、直接関わっていない時間も含めその方の生活スタイルを全スタッフで共有すること。また、その方に合わせた地域資源や情報を提供できるようになること。

前回の改善計画に対する取組み結果
*施設内の業務が手いっぱい、ご利用者の地域の情報や大和市の社会資源まで情報収集している時間がなく、提供まで至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	8人	6人	0人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなないように支援していますか?	0人	4人	11人	0人	15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	5人	11人	0人	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	1人	9人	5人	15人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
*日々のコミュニケーションの中からお本人のライフスタイルや趣味、生活歴を伺い理解するように努めている。
*本人と地域との今までの関係が途切れなないように支援している。
*民生委員さんとの連携や地域資源の連携は管理者が行なっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
*家族や利用者が住んでいる地域の方との関わりが少ない為、把握しきれていないのとどこまで介入して良いのかわからないことがある。
*情報収集する時間がないため、大和市の社会資源をあまり知ることがなく提供できていない。
*情報収集不足あるいは、ここに来ている方ばかりに目が向いてしまい、利用されていない方がどのように過ごされているかなどの視点が弱い。
*直接お会いする機会が少ないため、民生委員さんなどとお話しをすることがあまりない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
*もう一度日頃のコミュニケーションなどから知り得たご利用者さんの日常の過ごし方や生活圏域内で関わっている家族や友人、民生委員などをスタッフ間で共有をしていく。また、ここに来ていない登録されている方への視点も大切にし、ご利用者の暮らしを支えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 1月15日 (19:00~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口(速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	10人	5人	1人	16人

前回の改善計画	*新人スタッフ入職の際、オリエンテーションの内容の中に、今回スタッフへ行った小規模多機能サービスの勉強会と同等の内容を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	*施設内勉強会で小規模多機能サービスについての研修会を行なった他、新人スタッフが入職した際はオリエンテーションの時に必ず同等の研修を行いサービスへの理解を深めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	7人	6人	2人	16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3人	12人	1人	0人	16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2人	10人	4人	0人	16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	14人	1人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>*近隣の施設のイベントに参加したり、認知症カフェに参加したりできている。 *スタッフそれぞれが小規模多機能サービスについて理解し、ご本人やご家族の都合に合わせて柔軟にサービスを提供できている。 *本人の体調の変化などはスタッフ間で情報が共有できている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>*勉強不足、情報収集不足の為、地域の資源をうまく使いきれていない。 *人員配置上、出来る限りの対応はしているが、早朝や夜間の訪問対応ができていない。 *スタッフのスキル不足や認識の差があるため、本人の変化に素早く気づけなかったり、情報の共有ができていなかったりしている時がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>*サービスを理解し実行はできているが、本人の変化に素早く気づき、サービスをもう少しきめ細やかに柔軟に提供できるようにしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年1月15日(19:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口(速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	7人	1人	16人

前回の改善計画	*地域の行事やイベントのみならず、ご利用者と一緒に地域へ出る機会を多くする。(2回/月並み清掃活動も含む)
前回の改善計画に対する取組み結果	*街並み清掃を含め、ゲストとともに地域へ出かける機会は増えたとし、スタッフ間でもそのような意識をもって取り組むことができた。もう少し自治会の行事があると参加しやすい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0人	1人	4人	11人	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	1人	1人	14人	16人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	5人	6人	5人	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2人	10人	4人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>*日々現場での業務が忙しく、サービスして担当者会議は特定のスタッフしか参加が出来ていないが、意見を述べ議題として取り上げてくれている。</p> <p>*掲示板の確認や管理者からのイベントの案内で自治会や周辺施設の行事やイベントには多く参加できている。</p> <p>*日頃より、近所の方や、スタッフの友人や子供、ボランティアさんなどが日常的に出入りしており、とても良い雰囲気を感じられる。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>*サービス担当者会議や地域ケア会議などには業務に対応している現場スタッフが参加出来る時間が取れない。あるいは勉強不足のためそのような会議があることを知らない。</p> <p>*以前よりは来訪される地域の方は増えてはいるが、まだまだ足りないと感じる。また、地域の方々に向けての事業所主催のイベントや行事がまだまだ少ないと感じる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>*サービス担当者会議への定期的な参加は難しいが、日頃のカンファレンスから意見を上げ、担当者会議の場で議題と出来るようスタッフ間でもサービス開始前のカンファレンスを行えるようにする。</p> <p>*引き続き自治会や近隣施設のイベントや行事にはゲストとともに一緒に出かける機会をもっと増やしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 15 日 (19 : 00～21 : 00)

7. 運営

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口(速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	2人	0人	16人

前回の改善計画	*法人理念をもとに、フロアのあり方、理念をスタッフが作成する。その他、月単位でのケア目標を作成して実行、評価を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	*法人理念を元にスタッフ全員で話し合い、フロア理念を定め、フロア内に掲示しケアにあたることができた。また、月ごとのケア目標を決め月単位で遂行している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2人	5人	8人	1人	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	10人	4人	0人	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	8人	5人	1人	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2人	4人	7人	3人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
*フロア会議を通して、自分の意見を伝えることが出来るため、運営にも反映してくれている。 *利用者、ご家族から苦情があった場合は、速やかに管理者へ報告し、皆で改善策を検討し対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
*月単位での目標を立ててはいるが、実行に対しての評価をする時間があまりないため、適切に行えていない。 *自分から意見を言える方とそうでない方との差がある。 *スタッフは地域の方からの苦情や意見を聞く機会が少ない。 *施設としては色々と地域に向けての取り組みを行なっているが、スタッフ単位ではなかなかできていない。もしくは何を取り組んでいいかわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*事業所のあり方、フロアのあり方、フロア理念を元にスタッフ間で共有し、月単位ではケア目標を立て実行し、フロア会議で実行状況の評価を必ず行う。月単位目標は実行出来るようにフロア内に毎月貼り出し全員が同じ意識をもって取り組むことが出来るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 1月 15日 (19:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口(速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	2人	1人	15人

前回の改善計画
*フロア会議等での事故検討の他、事故直後にも当日のスタッフでショートカンファレンスを開催し、即時的な対応策を検討し共有していく。 *2ヶ月に1回のペースで全スタッフを対象とした施設内研修を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果
*フロア会議での事故検討は時間がなく、共有止まりになっている気がする。事故直後のショートカンファレンスでは業務中に短時間で即時的に行なっているため、表面上の解決案で根本的な解決案にならないと思う。 *施設内研修会は開催できているが、時間帯が19時からのためパートさんや家庭の都合がある主婦の方はなかなか参加が出来なこともあるが概ね半数以上のスタッフが参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	10人	2人	2人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	5人	1人	9人	16人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	0人	0人	15人	15人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	3人	7人	2人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	*施設内研修の他、施設に来る案内や自分で調べるなどして、必要な外部研修を受講し、スキルアップに努めている。 *日ごろよりヒヤリハットを分析し、起きる前に回避できるよう努めているため、昨年度より事故への意識が全体的に高まっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	*スキルアップに対して消極的になっており、自ら行動を起こし学んでいく、あるいは資格取得をしていく姿勢が少ない。 *事故を起こした直後は、情報が共有できており意識も高まっているが時間が経つと意識が薄れ、同じ事故に繋がっていることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	*事故への意識は高まっているが継続性が乏しいため、事故内容を一定期間申し送りし、事故報告書と併用して危機感を持つようにする。 *事故後のショートカンファレンスは即時的な対応策を検討し、フロア会議でその方のカンファレンス事項として事故を取り入れ、サービス内容や環境面、スタッフの業務の視点など事故を多角的に分析し、根本的な解決策へ近づける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 1月 15日 (19:00~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 下澤、川口、保田、内田、鈴木、川口(速)、喜納、出海、高木、武者三浦、織も、中山、朝日、坂本、矢田堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	6人	1人	16人

前回の改善計画
*フロア内で発言に注意し、プライバシーに配慮しながら声かけを行う。また、申し送りやカンファレンスなどの場所も検討しながら行う。 *施設内勉強会で「成年後見制度」に関する勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
*まだまだフロア内の発言に対して、プライバシーへの配慮が足りないと感じる人が多い。 *施設内勉強会で後見人制度に対する研修を行うことができ、スタッフに対し制度への理解を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11人	3人	1人	0人	15人
②	虐待は行われていない	12人	4人	0人	0人	16人
③	プライバシーが守られている	4人	9人	3人	0人	16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	7人	0人	6人	14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3人	7人	5人	0人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	*身体拘束や虐待はない。 *声かけなどにも配慮しながらケアを行っており声量や場所なども考えプライバシーへ配慮することができた。 *ケアマネや監理者が行なっているが、後見人が必要な方にはきちんと制度を利用することができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	*耳の遠い方もいらっしゃるのでも必然的に大声になってしまうことがある。 *情報共有の際フロア内で行うことがあり、他の利用者さんの耳に入ってしまうことがある。 *連絡帳を利用者さんの目の前で開いて記入していることがあり、誰でも観覧できる状態になっていることがある。 *入浴中の脱衣所に物品を取りに行く際、声かけもなく入室してしまうことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	*「ちょっと待ってください」などその方の行動を制限するような声かけは、拘束となり得ることをそれぞれが意識し、十分に注意する。 *引き続きフロア内での情報共有の際やケアの声かけの際は声量にも注意し、プライバシーへ配慮しながら行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛成会	代表者	平本 敏	法人・ 事業所 の特徴	法人理念である「愛成相和」を元にお互いが助け合い、支え合い感謝の気持ちを持ってサービス提供を行うことをスタッフが共有して実践できるよう心掛けています。また利用者の「生きる意欲や喜び」「癒し」の充足に努めるとともに、地域密着型サービスを提供する事業所としてご家族、地域の方たちに愛され、信頼される施設づくりの為、地域の清掃活動や自治会活動への参加など様々な取り組みを行なっています。
事業所名	ヴィラ愛成	管理者	下澤 貴道		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は全ての項目が達成できたわけではありません。達成できなかった部分は引き続き継続課題とし、新たな取り組みも含め、半期で一度振り返りを行い、スタッフ全員で取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価の5ヶ月前から、スタッフ全員で取り組む事が出来た。業務をしながらですが、時間を工面しながら実施することができた。半期で一度振り返りを行なったが、中々時間が作れず、正社員のみ参加となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価項目4はスタッフが行うのは難しいことだと思います。 事業所自己評価項目6に対し、自治会や地域でのイベントへのスタッフの参加が増えてきています。 スタッフのチームワーク、意欲が向上してきていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表の9項目に対して9つの次年度の目標を立てています。1年を通して継続的に実施していきますので、日々の中に埋もれないよう、年3回（上期、中期、下期）に分けてモニタリングを実施していきます。より確実に改善できるようにしていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、日中施錠することなく開放的な空間づくりを行います。その反面安全な環境を整え、事故のないようにしていきます。また施設外の花壇や駐車スペースなどの環境整備を行い近隣の方にも心地よさを感じていただけるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 施錠をしない取り組み「拘束ゼロ」を目指し、考えや理念をスタッフ間で共有し、実施してきた。人材が不足している時でも、対応できるよう努力はしてきた。ただ、事故はなかったものの安全面への配慮は改善すべき点はまだある。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関やフロアには掲示物やお花があったりステキな空間だと思います。出入りが多くて不審者が配。来所時、事務所に誰もいない事がある為心配な時がある。 掃除を遠くまでやってくれているので助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 外回りもあるため必ず誰かが事務所にいるというのは難しい。不在時には案内板を窓口におき、呼び鈴でスタッフが来客者に対応できるよう体制を整える。 引き続き、玄関は開放しながら利用者の安全を確保できるようスタッフ一同取り組んでいく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も地域の方と一緒にイベントを開催し、また地域のイベントにも積極的に参加することで事業所を知ってもらい、いつでも相談できる、気軽に立ち寄れる事業所を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も施設内のイベントの開催の際は地域の方に多く来場いただけたと思う。また、地域でのイベントにも利用者と一緒に参加する事もできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や、イベントへの参加も多く、自治会やボランティアさんとの連携も多いと思います。ただ、スタッフが忙しそう。 年々施設のことを知っている方が増えている。看板がないので、名前を大きくした方がいいと思う。(わかりづらい) 	<ul style="list-style-type: none"> 日々業務しながらの地域交流ですが、これからも地域の拠点となれるよう、より沢山のお客様にきていただきたいと思います。すでに参加させていただいている、認知症カフェや地域サロンもより活動的に行っていきます。 事業所の看板は法人へ報告を上げ検討していきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の住む地域でのケア会議開催や民生委員さんとの会合など、スタッフを含めできる限り参加していきます。 ご利用者の地域性を継続していくため、日頃からスタッフ単位で交流を深め、なじみの関係性を構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べると、比較的スタッフ単位で利用者の住む地域の方々との交流は増えてはいるが、深く入り込めてはいない様子。どのような関わりを持つべきか、わからないスタッフが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議やサービス担当者会議への参加があります。守秘義務もあると思うが、もう少し地域包括や自治会、介護事業所が連携を図った方がいいと思う。 地域ケア会議自体の開催頻度がまだ少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> その方が自宅へ戻られた際の関わりを増やす為、運転ができないスタッフやパートのスタッフも時間に余裕がある時は訪問へ同行し、自宅での暮らしや地域との関係性などを共有できるようにします。支援範囲をここだけに留めず地域でその方が行ってきたことは出来る限り継続できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの関わりもあるが、運営推進会議の場でも、要望があれば地域課題の共有を引き続き行なっていきます。また、次年度からはスタッフの参加も促し、より現場レベルでの報告ができるようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の場で地域課題の共有は少しずつ話題に上がるようになってきた。個人情報などもあるため、支援とまではいかないが、情報提供や専門職への引き継ぎなどで関わる事ができた。人員の確保が難しく、運営推進会議へのスタッフの参加が確実にできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> この会議で運営状況などの報告が誠実にあるので施設の方針がわかる。 この会議を利用した情報共有には守秘義務や個人情報の観点から限界がある。民生委員でも介入できず、外からの確認しかできない方もいる。機関を限定し情報共有できれば、適切な支援につなげられる可能性もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き運営推進会議では、施設の活動状況だけの報告ではなく地域課題の共有や検討の場としての機能も果たせるよう努める。 今年度はスタッフの参加がほとんど叶わなかったのですが次年度は、勤務表を作成の段階からスタッフが参加できるよう勤務調整を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 自治会との防災協定を検討し、連携を深め、災害時の協力体制を構築していきます。 風水害の防災訓練の検討、実施を行なっていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、所属する東伸和自治会とヴィラ愛成とで防災協定を結ぶ事ができた。災害時の協力支援体制を確認し、施設で行う防災訓練にも地域の方に参加していただく事ができた。 風水害時の防災訓練は確認の上実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回行なっている、施設内防災訓練には参加させてもらっていますが、近所の方のみなので、今後は3区班長等、参加していただく方の範囲を広げてみては？ 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も年2回の防災訓練を行うが、昨年同様地域の方々へも参加していただけるよう事前にお知らせをする。そのほか同じ区内の班長さんなどにもお声かけさせていただき、参加していただけるようにします。

